

「ものづくり技術者のための実践機械工学実験書」の 発刊にあたり

ものづくり技術者にとり最も必要な問題解決能力そして創造力育成のためには、機械工学に関する多くの実験を経験し実践の中から原理・原則を理解することが大切です。

真のものづくり技術者の養成のためには、この実験書が大いに役立つと考えています。

本実験書はこれまで20余年にわたり全国の職業能力開発大学校・短期大学校機械系で取組まれてきました機械工学実験の数多くのテーマの中から、ものづくり技術者にとって必携の14テーマを厳選、さらに近年の技術動向を踏まえ精密加工分野から3テーマを新たに加筆し、新たなものづくり技術者養成のための実験書として時代時代の対応を図るべく企画されています。

学生は、本実験書に基づき自ら実験に取り組むことで、機械工学の基礎事項を自然に効果的に身に付けられるように工夫されています。

それぞれのテーマでは現有の機器の取り扱い方法や類似機器などが紹介され関連の知識が深まるように配慮されています。

さらには章末に設けられた課題に取り組むことで応用力養成が期待できます。また巻末の各種資料は社会人となってからも活用できるデータを添付しています。

本実験書が多くの学生に活用されることで、日本のものづくりを支える実践技術者養成の一助となることを期待しています。

ぜひ新年度、御校での実験教科書としてご採用いただけますようご配慮を切にお願い申し上げます。

(社)実践教育訓練研究協会

機械系部会長

伊藤 昌樹